

No	ご意見内容	ご回答・反映状況
1	本事業の実施により、保護者の利便性が向上し、随時入所申請のオンライン申請率が上昇する等、一定の成果はあったが、個々に改善していくべき課題は残っている。令和7年度以降も、本事業の実施にあたっては、保護者や保育施設、自治体の負担軽減につながるように、連携自治体や参加保育施設の意見等を取り入れ、十分に連携を図っていただきたい。	令和7年度も、事業運営検討会や連携自治体定例会、ユーザーテスト、効果測定等を通じ、関係の皆様のご意見を取り入れながら、十分な連携を図って参ります。
2	自治体職員の負担は少なからずありましたが、保護者と保育施設双方にとってメリットのあるプロジェクトだったと思う。次年度以降、本プロジェクトの認知度をもっと高め、多くの人に利用してもらい、保活に関する負担が軽減されればと思う。	認知度の向上について、84頁にご意見を反映しました。
3	保育施設における「ここdeサーチ」の認知度と重要性の理解が不十分なため、更新していない過去の情報などが民間保活システムに表示されるケースがある。このため、（業界団体はもちろん周知に協力する上で）行政からもここdeサーチの情報の更新を施設側に強く呼びかけていく必要がある。また、より更新の必要性の意識を高めていくためにマニュアル的なもので周知できる体制も重ねて希望したい。	ここdeサーチの情報更新に係る課題について、77頁にご意見を反映しました。
4	民間保活システムは、入園希望者が見学や入園申し込みの検討をする重要な窓口となるが、現在は施設のイメージ画像としてサンプル写真が掲載されている。この情報を実際の園の雰囲気や環境と錯誤される状況になっているという意見を多くいただいた。このため、将来的には基盤の施設情報に、施設から提供される画像を登録できるようにし、それを表示するなどのシステムの工夫が必要だと考える。	いただいたご意見につき、民間保活システム事業者にも共有し、今後の参考とさせていただきます。
5	オンラインを通じたやりとりで多くの入所希望者、保育施設、行政窓口の負担軽減が図れると理解しているが、保育所への入所希望者には様々なご家庭があり、オンラインのみの対応では事前把握が難しいことが想像できる。原則オンラインでのやり取りとしながらも、直接の電話でのやり取りや窓口相談もできるような柔軟な対応を採ることができる表現にしていきたい。	オンライン以外のやり取りを否定する趣旨の取組ではないことが、保護者や保育施設に誤解無く伝わる表現とするよう、広報周知などの際は留意して参ります。
6	できる限り多くの保育施設の参加を促したいと思う中で、特に運営主体として多くを占める社会福祉法人や学校法人では、企業と異なり、参加の意思決定を期中に開かれる理事会等で判断するため、期限までに手上げができなかった施設も多くあるのではないかと。手上げをした区市町村の中で、可能な限り年度途中の参加もできるような配慮が必要と考える。	令和7年度は、年度途中の参加は予定していませんが、全国展開にあたってはいただいたご意見を参考とするよう、国にも共有いたします。

7	（報告）東京都民間保育協会では、第3回の検討会で業界団体に期待することとしていただいた業界周知の一環として、1200強の非営利法人立保育施設会員園および区市町村担当課に毎月発送している機関紙に保活ワンストッププロジェクトの内容を特集記事として記載した。また、板橋区で試行に協力実践している会員園からの寄稿を掲載し、実際の施設の取り組み内容を周知する予定である。	ご協力いただきありがとうございます。保育施設の参加促進に向けた団体との協力について、81頁に反映しました。
8	実際に保育現場の職員が使用できるようなデモサイトがあれば、より深く理解が進むと考える。広報周知の意味も含め、もし可能であれば園長会や個別の研修会等で使用できるでもサイト（デモ用アカウント）の用意をお願いしたい。	令和7年度の参加保育施設募集時には、保育施設向けにデモ環境を提供させていただきました。全国展開にあたっても、いただいたご意見を参考とするよう、国に共有いたします。
9	保活ワンストップ、民間保活システムの知名度が低いので、効果的に周知できると良いと思う。民間保活システムの名前を伝えても聞いたことがないという反応をされることが多く、すんなりとそちらでも検索してみてくださいと伝えづらいのが実態である。	認知度の向上について、84頁にご意見を反映しました。
10	どの園でもこのシステムを活用して園見学につながる事が保護者にとって利用しやすいものになると思います。あちらの園見学は電話、こちらはオンライン、ここはどうなの？という状況である。	保育施設の参加促進について、81頁に反映しました。
11	保護者側から見て、情報収集や情報の比較がしやすくなっているかの検証も、今後システムが広く活用されるに従い、検証できることでもっと良くした方がよいこと、必要ないことなど整理しブラッシュアップしていけるとさらに良いシステムになると思う。	いただいたご意見につき、民間保活システム事業者にも共有し、今後の参考とさせていただきます。